

令和8年度 中学部 1年 (Ⅱ課程A) 道徳科 年間指導計画(シラバス)

単位数／配当時数	対象人数	担当者名	教科書／副教材
1/35	1学年 21名		新・みんなの道徳3

年間目標				よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。		
学期	月	時数	単元・題材目標 (ねらい)	単元・題材名(主題名)	単元・題材の活動内容 (内容項目)	教科等横断的視点 他教科との関連
1 学期	4月	3	・道徳の時間はどんなことをするのかを知り、よく考えたり人の意見をしっかり聞いてみたりしようという態度を養う ・礼儀の大切さやよさに気づき、誰に対しても真心を持って接していこうとする態度を養う	・道徳びらき ・気持ちを伝えて	B-(4)相互理解 B-(2)礼儀	
	5月	3	・家族が日々、愛情をもって育ててくれていることに気づき、自分も家族の一員であることを自覚し、家庭生活に積極的に関わろうとする態度を養う ・どんな状況の時でも、自分の役割を自覚し、奉仕や公共の精神をもち、主体的に働こうとする心情を育てる	・家族の一員として ・社会への奉仕	C-(5)家族愛、家族生活の充実 C-(3)公共の精神	
	6月	3	・日本と他国のきょうつうてんや相違点を見つけることを通して、他国に親しみをもとうとする態度を養う ・努力を続ける課程には、周りの人の支えがあることに気づき、強い意志をもって粘り強く取り組もうとする態度を養う	・世界とつながる日本 ・ねばり強くがんばる	C-(9)国際理解、国際貢献 A-(4)希望と勇気、克己と強い意志	
	7月	3	・自分の命は、たくさんの人たちに守られ、かけがえないものとして待ち望まれていたことに気づき、自他の命を大切にしようとする心情を育てる	・おかげさまの命	D-(1)生命の尊さ	
	9月	3	・自分のことをよく知り、よいところを伸ばそうとする態度を養う ・学校のために進んで働くことの素晴らしさに気づき、学校の一員として、みんなと協力しあって楽しく充実した学校生活を構築していこうとする態度を養う	・自分のよさを見付けてのばす ・自分たちの学校	A-(3)向上心、個性の伸長 C-(6)よりよい学校生活、集団生活の充実	

2 学 期	10月	4	・友達のよさをお互いに理解することで信頼感を高めることに気づき、友達同士助け合おうとする態度を養う ・広い心で自分と異なる人の立場を受け入れようとする態度を養う	・最高の仲間 ・ゆるす心の広さ ・友達の関係	B-(3)友情、信頼 B-(4)相互理解、寛容	
	11月	4	・相手の気持ちを考えることの大切さについて自覚を深め、進んで親切にしようとする心情を育てる ・いじめを許さないという意味をもち、正しいと思うことを主体的に判断し、自信をもって実行していこうとする態度を養う	・気持ちの通い合い ・正しいことは自信をもって	B-(1)思いやり、感謝 A-(1)自主自律、自由と責任	
	12月	3	・きまりやルールは、みんなが気持ちよく生活するためにあることを理解し、進んできまりを守ろうとする態度を養う ・自分たちの周りにある自然環境や動植物を愛し、大切にしようとする心情を育てる	・みんなのためのきまり ・自然や動植物を大切に	C-(1)遵法精神、公德心 D-(2)自然愛護	
3 学 期	1月	3	・節度ある生活をし、お金や物の使い方や自分のできることを考えて行動するための判断力を育てる ・差別を許さず、公正、公平な態度で、誰にでも温かく接しようとするための判断力を育てる	・自分の生活を見つめて ・村の仲間として	A-(2)節度、節制 C-(2)公正、公平	
	2月	3	・真の親切とは何か考える活動を通して、相手の思いや状況に応じた親切を考えていこうとする心情を育てる	・心と心のつながり ・人との距離感	B-(1)思いやり、感謝	
	3月	3	・誰にでも長所や短所があり、自分の特徴を知って長所を積極的に伸ばそうとする心情を育てる ・自分の一年間を振り返り、学んだことを今後の生活にいかそうとする心情を育てる	・かがやく自分 ・1年間の振り返り	A-(3)向上心、個性の伸長	
留意点 引継等						
評価方法		評価の観点も含めて評価方法とします。 ・授業に対する取組姿勢 ・課題の処理意欲、態度 ・社会生活のマナーやルールの理解度、習得度 ・提出物の状況				

単位数／配当時数	対象人数	担当者名	教科書／副教材
1 / 35	1 学年 12名		新・みんなの道徳2

年間目標				よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。		
学期	月	時数	単元・題材目標 (三つの柱)	単元・題材名	単元・題材の活動内容	教科等横断的視点 他教科との関連
1 学期	4 月	3	・道徳の時間はどんなことをするのかを知り、よく考えたり人の意見をしっかり聞いてみたりしようという態度を養う ・礼儀の大切さを知り、誰に対しても真心をもって挨拶しようとする態度を養う	・道徳びらき ・相手のことを考えて	B-(4)相互理解 B-(2)礼儀	
	5 月	3	・身勝手でわがままな行動や発言を抑制し、周りの人のことも考えた節度ある生活をしようとする態度を養う ・家族の無償の愛に気づき、家族みんなで協力しあって温かい家庭をつくろうとする心情を育てる	・まわりの人を考えて ・家族の温かさ	A-(2)節度、節制 C-(5)家族愛	
	6 月	3	・様々な国の文化が違う人々との支え合いの中で心がつながるよさについて考え、他国の人々や文化を大切に、互いを思い合い、助け合っていこうとする態度を養う ・相手の身になって考え、信頼関係を築き、困っているときにはお互い助け合おうとする心情を育てる	・わたしたちは、つながっています ・わかり合える友 ・友達の関係	C-(9)国際理解、国際貢献 B-(3)友情、信頼	
	7 月	3	・自分の命がたくさんの支えの中であることを知り、命ある全てのものを大切にしようとする心情を育てる	・ささえられている命	D-(1)生命の尊さ	
2 学	9 月	3	・他の人々の多様な個性や生き方に触れることを通して、自分の特徴について考え、長所を伸ばしていこうとする心情を育てる ・相手を進んで支えたり励ましたりすることが、集団生活を送る上で大切であることに気付かせることを通して、楽しく学校生活を送っていこうとする心情を育てる	・自分らしさを生かす ・心地よい生活	A-(3)向上心、個性の伸長 C-(6)よりよい学校生活、集団生活の充実	
	10 月	4	・どんな状況のときでも、自分の役割を自覚し、主体的に責任を果たそうとする心情を育てる ・言葉には人をうれしい気持ちにさせる言葉と、反対に傷つけてしまう言葉があることを理解し、相手の気持ちを考えて適切に使うという態度を養う	・だれかのために ・言われたときのこころ	C-(4)勤労 B-(1)思いやり、感謝	

期	11月	4	・相手に関係なく、自分の正しいと思ったことは自信をもって行おうとする態度を養う ・自分と異なる意見であっても、その言葉の裏側にある想いに気付かせることを通して、相手を理解して行動していこうとする判断力を育てる	・正しいことは自信をもって ・わかり合う心	A-(1)自主、自律 B-(4)相互理解、寛容	
	12月	3	・危険から身を守るために約束やきまりがあることを考えさせ、自分勝手な行動を慎み、約束やきまりを守って安全に過ごそうとする態度を養う ・自然のすばらしさや偉大さを理解し、大切に守ろうとする心情を育てる	・安全にくらすために ・母なる大地を守る	C-(1)遵法精神 D-(2)自然愛護	
	1月	3	・目標を実現するためには、あきらめずに粘り強くやり抜く強い意志が必要であることに気付き、向上心をもって継続して取り組もうとする態度を養う ・誰に対しても、公正、公平な態度で接することの大切さに気付き、進んで正義を実現しようとする態度を養う	・あきらめない心 ・正しく強い心	A-(4)希望と勇気、克己と強い意志 C-(2)公正、公平	
3学期	2月	3	・相手の立場を考えて行動することの大切さに気付き、進んで親切な行いをしようとする心情を育てる ・正しいと判断することの大切さを考え、自信をもって行動しようとする態度を養う	・相手を思う心を形に ・いやだと言えるように ・人との距離感	B-(1)おもいやり A-(1)自由と責任	
	3月	3	・どんな友達であっても互いに理解し、困っているときには進んで助けようとする判断力を育てる ・一年間を振り返り、学んだことを今後の生活にいかそうとする心情を育てる	・進んで助けよう ・1年間の振り返り	B-(3)友情、信頼 A-(3)向上心	
留意点 引継等						
評価方法		評価の観点も含めて評価方法とします。 ・授業に対する取組姿勢 ・課題の処理意欲、態度 ・社会生活のマナーやルールの理解度、習得度 ・提出物の状況				

単位数／配当時数	対象人数	担当者名	教科書／副教材
1/35	2学年 15名		新・みんなの道徳3

年間目標				よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。		
学期	月	時数	単元・題材目標 (ねらい)	単元・題材名(主題名)	単元・題材の活動内容 (内容項目)	教科等横断的視点 他教科との関連
Ⅰ学期	4月	3	・道徳の時間はどんなことをするのかを知り、よく考えたり人の意見をしっかり聞いてみたりしようという態度を養う ・礼儀の大切さやよさに気づき、誰に対しても真心を持って接していこうとする態度を養う	・道徳びらき ・気持ちを伝えて	B-(4)相互理解 B-(2) 礼儀	
	5月	3	・家族が日々、愛情をもって育ててくれていることに気づき、自分も家族の一員であることを自覚し、家庭生活に積極的に関わろうとする態度を養う ・どんな状況の時でも、自分の役割を自覚し、奉仕や公共の精神をもち、主体的に働こうとする心情を育てる	・家族の一員として ・社会への奉仕	C-(5)家族愛、家族生活の充実 C-(3) 公共の精神	
	6月	3	・日本と他国のきょうつうてんや相違点を見つけることを通して、他国に親しみをもちとうとする態度を養う ・努力を続ける課程には、周りの人の支えがあることに気づき、強い意志をもって粘り強く取り組もうとする態度を養う	・世界とつながる日本 ・ねばり強くがんばる	C-(9)国際理解、国際貢献 A-(4)希望と勇気、克己と強い意志	
	7月	3	・自分の命は、たくさんの人たちに守られ、かけがえのないものとして待ち望まれていたことに気づき、自他の命を大切にしようとする心情を育てる	・おかげさまの命	D-(1)生命の尊さ	
2学	9月	3	・自分のことをよく知り、よいところを伸ばそうとする態度を養う ・学校のために進んで働くことの素晴らしさに気づき、学校の一員として、みんなで協力しあって楽しく充実した学校生活を構築していこうとする態度を養う	・自分のよさを見付けてのばす ・自分たちの学校	A-(3)向上心、個性の伸長 C-(6)よりよい学校生活、集団生活の充実	
	10月	4	・友達のよさをお互いに理解することで信頼感を高めることに気づき、友達同士助け合おうとする態度を養う ・広い心で自分と異なる人の立場を受け入れようとする態度を養う	・最高の仲間 ・ゆるす心の広さ ・友達の関係	B-(3)友情、信頼 B-(4)相互理解、寛容	

期	11月	4	- 相手の気持ちを考えることの大切さについて自覚を深め、進んで親切にしようとする心情を育てる - いじめを許さないという意思をもち、正しいと思うことを主体的に判断し、自信をもって実行していこうとする態度を養う	- 気持ちの通い合い - 正しいことは自信をもって	B-(1)思いやり、感謝 A-(1)自主自律、自由と責任	
	12月	3	- きまりやルールは、みんなが気持ちよく生活するためにあることを理解し、進んできまりを守ろうとする態度を養う - 自分たちの周りにある自然環境や動植物を愛し、大切にしようとする心情を育てる	- みんなのためのきまり - 自然や動植物を大切に	C-(1)遵法精神、公德心 D-(2)自然愛護	
3 学 期	1月	3	- 節度ある生活をし、お金や物の使い方で自分のできることを考えて行動するための判断力を育てる - 差別を許さず、公正、公平な態度で、誰にでも温かく接しようとするための判断力を育てる	- 自分の生活を見つめて - 村の仲間として	A-(2)節度、節制 C-(2)公正、公平	
	2月	3	真の親切とは何か考える活動を通して、相手の思いや状況に応じた親切を考えていこうとする心情を育てる	- 心と心のつながり - 人との距離感	B-(1)思いやり、感謝	
	3月	3	- 誰にでも長所や短所があり、自分の特徴を知って長所を積極的に伸ばそうとする心情を育てる - 自分の一年間を振り返り、学んだことを今後の生活にいかそうとする心情を育てる	- かがやく自分 1年間の振り返り	A-(3)向上心、個性の伸長	
留意点 引継等						
評価方法			評価の観点も含めて評価方法とします。 - 授業に対する取組姿勢 - 課題の処理意欲、態度 - 社会生活のマナーやルールの理解度、習得度 - 提出物の状況			

単位数／配当時数	対象人数	担当者名	教科書／副教材
1/35	2学年 11名		新みんなの道徳2

年間目標				よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。		
日	月	時数	単元・題材目標 (三つの柱)	単元・題材名	単元・題材の活動内容	教科等横断的視点 他教科との関連
1 学 期	4月	3	・道徳の時間はどんなことをするのかを知り、よく考えたり人の意見をしっかり聞いてみたりしようという態度を養う ・礼儀の大切さを知り、誰に対しても真心をもって挨拶しようとする態度を養う	・道徳びらき ・相手のことを考えて	B-(4)相互理解 B-(2)礼儀	
	5月	3	・身勝手であがままな行動や発言を抑制し、周りの人のことも考えた節度ある生活をしようとする態度を養う ・家族の無償の愛に気づき、家族みんなで協力しあって温かい家庭をつくろうとする心情を育てる	・まわりの人を考えて ・家族の温かさ	A-(2)節度、節制 C-(5)家族愛	
	6月	3	・様々な国の文化が違う人々との支え合いの中で心がつながるよさについて考え、他国の人々や文化を大切に、互いを思い合い、助け合っていこうとする態度を養う ・相手の身になって考え、信頼関係を築き、困っているときにはお互い助け合おうとする心情を育てる	・わたしたちは、つながっています ・わかり合える友	C-(9)国際理解、国際貢献 B-(3)友情、信頼	
	7月	3	・自分の命がたくさんの支えの中であることを知り、命ある全てのものを大切にしようとする心情を育てる	・ささえられている命	D-(1)生命の尊さ	
2 学 期	9月	3	・他の人々の多様な個性や生き方に触れることを通して、自分の特徴について考え、長所を伸ばしていこうとする心情を育てる ・相手を進んで支えたり励ましたりすることが、集団生活を送る上で大切であることに気付かせることを通して、楽しく学校生活を送っていこうとする心情を育てる	・自分らしさを生かす ・心地よい生活	A-(3)向上心、個性の伸長 C-(6)よりよい学校生活、集団生活の充実	
	10月	4	・どんな状況のときでも、自分の役割を自覚し、主体的に責任を果たそうとする心情を育てる ・言葉には人をうれしい気持ちにさせる言葉と、反対に傷つけてしまう言葉があることを理解し、相手の気持ちを考えて適切に使おうとする態度を養う	・だれかのために ・言われたときのこころ	C-(4)勤労 B-(1)思いやり、感謝	

期	11月	4	・相手に関係なく、自分の正しいと思ったことは自信をもって行おうとする態度を養う ・自分と異なる意見であっても、その言葉の裏側にある想いに気付かせることを通して、相手を理解して行動していこうとする判断力を育てる	・正しいことは自信をもって ・わかり合う心	A-(1)自主、自律 B-(4)相互理解、寛容	
	12月	3	・危険から身を守るために約束やきまりがあることを考えさせ、自分勝手な行動を慎み、約束やきまりを守って安全に過ごそうとする態度を養う ・自然のすばらしさや偉大さを理解し、大切に守ろうとする心情を育てる	・安全にくらすために ・母なる大地を守る	C-(1)遵法精神 D-(2)自然愛護	
3学期	1月	3	・目標を実現するためには、あきらめずに粘り強くやり抜く強い意志が必要であることに気付き、向上心をもって継続して取り組もうとする態度を養う ・誰に対しても、公正、公平な態度で接することの大切さに気付き、進んで正義を実現しようとする態度を養う	・あきらめない心 ・正しく強い心	A-(4)希望と勇気、克己と強い意志 C-(2)公正、公平	
	2月	3	・相手の立場を考えて行動することの大切さに気付き、進んで親切な行いをしようとする心情を育てる ・正しいと判断することの大切さを考え、自信をもって行動しようとする態度を養う	・相手を思う心を形に ・いやだと言えるように ・人との距離感	B-(1)おもいやり A-(1)自由と責任	
	3月	3	・どんな友達であっても互いに理解し、困っているときには進んで助けようとする判断力を育てる ・一年間を振り返り、学んだことを今後の生活にいかそうとする心情を育てる	・進んで助けよう ・1年間の振り返り	B-(3)友情、信頼 A-(3)向上心	
留意点 引継等						
評価方法			評価の観点も含めて評価方法とします。 ・授業に対する取組姿勢 ・課題の処理意欲、態度 ・社会生活のマナーやルールの理解度、習得度 ・提出物の状況			

単位数／配当時数	対象人数	担当者名	教科書／副教材
1/35	3学年 24名		新・みんなの道徳3

年間目標			よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。			
学期	月	時数	単元・題材目標 (ねらい)	単元・題材名(主題名)	単元・題材の活動内容 (内容項目)	教科等横断的視点 他教科との関連
1 学期	4月	3	・道徳の時間はどんなことをするのかを知り、よく考えたり人の意見をしっかり聞いてみたりしようという態度を養う ・礼儀の大切さやよさに気づき、誰に対しても真心を持って接していこうとする態度を養う	・道徳びらき ・気持ちを伝える	B-(4)相互理解 B-(2)礼儀	
	5月	3	・家族が日々、愛情をもって育ててくれていることに気づき、自分も家族の一員であることを自覚し、家庭生活に積極的に関わろうとする態度を養う ・どんな状況の時でも、自分の役割を自覚し、奉仕や公共の精神をもち、主体的に働こうとする心情を育てる	・家族の一員として ・社会への奉仕	C-(5)家族愛、家族生活の充実 C-(3)公共の精神	
	6月	3	・日本と他国のきょうつうてんや相違点を見つけることを通して、他国に親しみをもちようとする態度を養う ・努力を続ける課程には、周りの人の支えがあることに気づき、強い意志をもって粘り強く取り組もうとする態度を養う	・世界とつながる日本 ・ねばり強くがんばる	C-(9)国際理解、国際貢献 A-(4)希望と勇気、克己と強い意志	
	7月	3	・自分の命は、たくさんの人たちに守られ、かけがえないものとして待ち望まれていたことに気づき、自他の命を大切にしようとする心情を育てる	・おかげさまの命	D-(1)生命の尊さ	
2 学期	9月	3	・自分のことをよく知り、よいところを伸ばそうとする態度を養う ・学校のために進んで働くことの素晴らしさに気づき、学校の一員として、みんなで協力しあって楽しく充実した学校生活を構築していこうとする態度を養う	・自分のよさを見付けてのばす ・自分たちの学校	A-(3)向上心、個性の伸長 C-(6)よりよい学校生活、集団生活の充実	
	10月	4	・友達のよさをお互いに理解することで信頼感を高めることに気づき、友達同士助け合おうとする態度を養う ・広い心で自分と異なる人の立場を受け入れようとする態度を養う	・最高の仲間 ・ゆるす心の広さ ・友達の関係	B-(3)友情、信頼 B-(4)相互理解、寛容	
	11月	4	・相手の気持ちを考えることの大切さについて自覚を深め、進んで親切にしようとする心情を育てる ・いじめを許さないという意味をもち、正しいと思うことを主体的に判断し、自信をもって実行していこうとする態度を養う	・気持ちの通い合い ・正しいことは自信をもって	B-(1)思いやり、感謝 A-(1)自主自律、自由と責任	

	12月	3	・きまりやルールは、みんなが気持ちよく生活するためにあることを理解し、進んできまりを守ろうとする態度を養う ・自分たちの周りにある自然環境や動植物を愛し、大切にしようとする心情を育てる	・みんなのためのきまり ・自然や動植物を大切に	C-(1) 遵法精神、公德心 D-(2) 自然愛護	
3 学 期	1月	3	・節度ある生活をし、お金や物の使い方方で自分のできることを考えて行動するための判断力を育てる ・差別を許さず、公正、公平な態度で、誰にでも温かく接しようとするための判断力を育てる	・自分の生活を見つめて ・村の仲間として	A-(2) 節度、節制 C-(2) 公正、公平	
	2月	3	・真の親切とは何か考える活動を通して、相手の思いや状況に応じた親切を考えていこうとする心情を育てる	・心と心のつながり ・人との距離感	B-(1) 思いやり、感謝	
	3月	3	・誰にでも長所や短所があり、自分の特徴を知って長所を積極的に伸ばそうとする心情を育てる ・自分の一年間を振り返り、学んだことを今後の生活にいかそうとする心情を育てる	・かがやく自分 ・1年間の振り返り	A-(3) 向上心、個性の伸長	
留意点 引継等						
評価方法		評価の観点も含めて評価方法とします。 ・授業に対する取組姿勢 ・課題の処理意欲、態度 ・社会生活のマナーやルールの理解度、習得度 ・提出物の状況				

単位数／配当時数	対象人数	担当者名	教科書／副教材
1/35	3学年 8名		新・みんなの道徳3

年間目標				よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。		
日	月	時数	単元・題材目標 (三つの柱)	単元・題材名	単元・題材の活動内容	教科等横断的視点 他教科との関連
1 学 期	4月	3	・道徳の時間はどんなことをするのかを知り、よく考えたり人の意見をしっかり聞いてみたりしようという態度を養う ・礼儀の大切さを知り、誰に対しても真心をもって挨拶しようとする態度を養う	・道徳びらき ・相手のことを考えて	B-(4)相互理解 B-(2)礼儀	
	5月	3	・身勝手ではがままな行動や発言を抑制し、周りの人のことも考えた節度ある生活をしようとする態度を養う ・家族の無償の愛に気づき、家族みんなで協力しあって温かい家庭をつくろうとする心情を育てる	・まわりの人を考えて ・家族の温かさ	A-(2)節度、節制 C-(5)家族愛	
	6月	3	・様々な国の文化が違う人々との支え合いの中で心がつながるよさについて考え、他国の人々や文化を大切に、互いを思い合い、助け合っていこうとする態度を養う ・相手の身になって考え、信頼関係を築き、困っているときにはお互い助け合おうとする心情を育てる	・わたしたちは、つながっています ・わかり合える友 ・友達の関係	C-(9)国際理解、国際貢献 B-(3)友情、信頼	
	7月	3	・自分の命がたくさんの支えの中であることを知り、命ある全てのものを大切にしようとする心情を育てる	・さざえられている命	D-(1)生命の尊さ	
2 学 期	9月	3	・他の人々の多様な個性や生き方に触れることを通して、自分の特徴について考え、長所を伸ばしていこうとする心情を育てる ・相手を進んで支えたり励ましたりすることが、集団生活を送る上で大切であることに気付かせることを通して、楽しく学校生活を送っていこうとする心情を育てる	・自分らしさを生かす ・心地よい生活	A-(3)向上心、個性の伸長 C-(6)よりよい学校生活、集団生活の充実	
	10月	4	・どんな状況のときでも、自分の役割を自覚し、主体的に責任を果たそうとする心情を育てる ・言葉には人をうれしい気持ちにさせる言葉と、反対に傷つけてしまう言葉があることを理解し、相手の気持ちを考えて適切に使うようとする態度を養う	・だれかのために ・言われたときのこころ	C-(4)勤労 B-(1)思いやり、感謝	

期	11月	4	・相手に関係なく、自分の正しいと思ったことは自信をもって行おうとする態度を養う ・自分と異なる意見であっても、その言葉の裏側にある想いに気付かせることを通して、相手を理解して行動していこうとする判断力を育てる	・正しいことは自信をもって ・わかり合う心	A-(1)自主、自律 B-(4)相互理解、寛容	
	12月	3	・危険から身を守るために約束やきまりがあることを考えさせ、自分勝手な行動を慎み、約束やきまりを守って安全に過ごそうとする態度を養う ・自然のすばらしさや偉大さを理解し、大切に守ろうとする心情を育てる	・安全にくらすために ・母なる大地を守る	C-(1)遵法精神 D-(2)自然愛護	
3学期	1月	3	・目標を実現するためには、あきらめずに粘り強くやり抜く強い意志が必要であることに気付き、向上心をもって継続して取り組もうとする態度を養う ・誰に対しても、公正、公平な態度で接することの大切さに気付き、進んで正義を実現しようとする態度を養う	・あきらめない心 ・正しく強い心	A-(4)希望と勇気、克己と強い意志 C-(2)公正、公平	
	2月	3	・相手の立場を考えて行動することの大切さに気付き、進んで親切な行いをしようとする心情を育てる ・正しいと判断することの大切さを考え、自信をもって行動しようとする態度を養う	・相手を思う心を形に ・いやだと言えるように ・人との距離感	B-(1)おもいやり A-(1)自由と責任	
	3月	3	・どんな友達であっても互いに理解し、困っているときには進んで助けようとする判断力を育てる ・一年間を振り返り、学んだことを今後の生活にいかそうとする心情を育てる	・進んで助けよう ・1年間の振り返り	B-(3)友情、信頼 A-(3)向上心	
留意点 引継等						
評価方法		評価の観点も含めて評価方法とします。 ・授業に対する取組姿勢 ・課題の処理意欲、態度 ・社会生活のマナーやルールの理解度、習得度 ・提出物の状況				